

町民による町への政策提言

第2回 錦江町『未来』想像・創造 コンテストの結果を発表します!

錦江町ふるさと納税で集まった寄付金を、町の未来づくりのために『どう使うべきか』を、町民や町出身者の皆さまからご提案をいただき「第2回 錦江町『未来』想像・創造コンテスト」を開催しました。

皆さまから寄せられた107件の応募の中から『思い』『発想』『知恵』を審査し、「ふるさと納税の使い道」が決定しました。今後、町は提言を受けて実現に向けて取り組んでいきます。

最優秀賞 (13歳～18歳の部)

『本屋、工場などの
事業所に新しい機材・
技術を取り入れる』



川井田 悠人さん (錦江中3年)

- 使うべき対象 「事業者」
- 提案した理由

若者が町を出て都会に出ていくのは、若者がのぞんでいる職場、環境がないからだと思う。新しい機材・技術を導入した新しい職場や施設を作ること町を出ていく人も減ると思うから。

●期待する成果

- ・町内の人以外にも町外から働きに来る人が増える。
- ・お金ができるので新しい施設もつくれる。

●いま自分がやるべきこと

- ・新たに技術を身につける
- ・事業所をアピールする
- ・今よりも少しだけ給料を上げる

最優秀賞 (0歳～12歳の部)

『子どもでも
参加できる、農業を
している人の演説会を
年に何回か開く』



梶 陽夏琉さん・右 荒田 竜太朗さん・左 (宿利原小6年)

- 使うべき対象 「子ども」
- 提案した理由

この前テレビで、農業後つぎの問題について、見ていてびっくりしたからです。錦江町は農業で生活している人が多く、ぼくも親の後をつぎたいから。

●期待する成果

- ・農業への関心が高まり、後継者問題の解決に。
- ・興味を持つ子どもが増える。
- ・将来、農業を学び、錦江町に帰ってきて、錦江町の農業を発展させていく。

●いま自分がやるべきこと

- ・親の農業の手伝いをする。
- ・野菜などについて、勉強をする。
- ・農業の体験活動などに積極的に参加する。

- 優秀賞 (0～12歳の部)
坂口 晴菜さん (大原小6年)
提案「子ども」 閉校になった学校を使って、身近に英語が学べる場所を作ってほしい。
- 栗脇 正仁さん (田代中1年)
提案「担い手」 今から錦江町内で働く人にお金を寄付する。
- 優秀賞 (13～18歳の部)
鵜瀬凜太郎さん (錦江中3年)
提案「事業者」 事業者の収入が安定するために支援する。事業者の数が増えれば、雇用できる場所が増える。
- 小脇 綾乃さん (錦江中3年)
提案「高齢者」 高齢者のために、日用品や食料品などの車配達をする。



2月14日に行われた「第2回錦江町『未来』想像・創造コンテスト」授賞式及び百人委員会感謝状授賞式の様子